

インターネットは便利だけど・・・

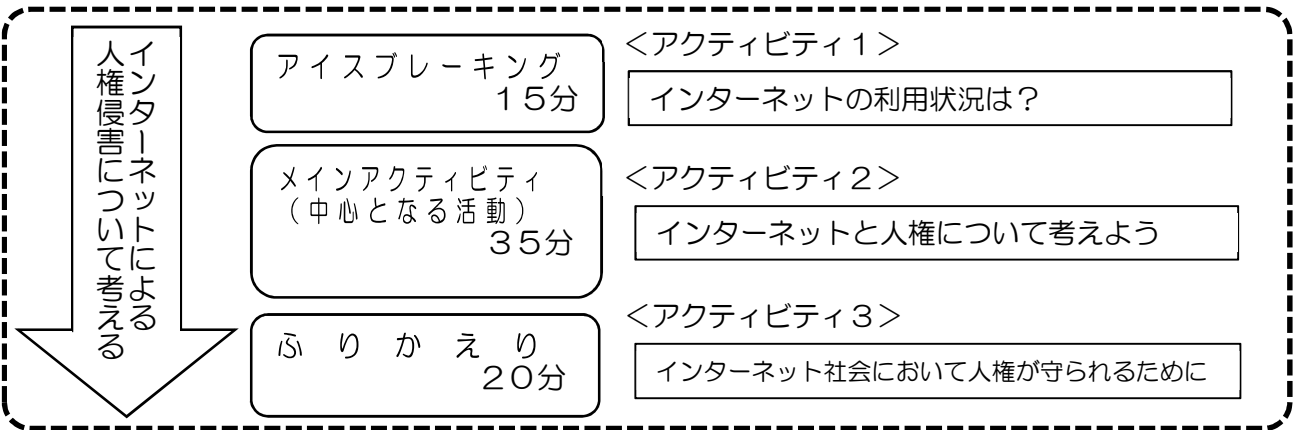
インターネットによる人権侵害

おらい

インターネットによる人権侵害について理解を深め、それらの人権侵害をなくすために自分自身が気を付けることについて考えます。

時間	70分	人数	1グループ4～6人
準備	資料①・②・③ ワークシート サイコロ（サイコロトーク用） 付箋紙 付箋紙を貼る台紙（模造紙や裏面が白の古いポスターなど） 筆記用具		

学習の流れ



<アクティビティ1> インターネットの利用状況は？

活動のねらい

インターネットの利用状況を紹介し合うことで、私たちの生活と強く結びついたインターネットの存在を確認します。

活動の進め方

<準備> 資料① サイコロ

1 グループ内で簡単な自己紹介（氏名、所属程度）後、インターネットの利用状況を紹介します。

【サイコロトークの手順】

- ① 話す順番を決め、最初の人サイコロを振ります。
- ② 出た目の数字のお題で、順番に全員が話をします。
- ③ 次の順番の人がサイコロを振り、②③を時間まで繰り返します。同じ目が出た場合はもう一度振ってよいこととします。

実施の際のポイント

ファシリテーターは自己紹介時に自分自身のインターネットの利用状況を簡単に紹介し、活動への意識付けを図ります。

サイコロトークをしながら紹介し合うことを伝え、手順を説明します。

ジャンケンをして勝った人から時計回りなど、ファシリテーターが順番を決めてもかまいません。

活動をとおして、インターネットは便利なものであり、私たちの生活に欠かせないツールとなっていることを確認します。

<アクティビティ2> インターネットと人権について考えよう

活動のねらい

様々な人権侵害が、インターネットを介して起こっていることに気付きます。

活動の進め方

<準備> 資料② 付箋紙 筆記用具
付箋紙を貼る台紙（模造紙など）

- 資料②の事例について考えます。
 - 事例を1つずつ確認し、それぞれの事例について、知っていること、感じたことなどを伝え合います。
 - 事例シートのAさんからCさんを「わたし」に置き換えて読み、置き換える前と後の違いについて、グループ内で話し合います。
- 人権侵害につながった原因について考えます。
 - このような事例が起きた理由について考え、各自付箋紙に記入します。
 - 付箋紙を台紙に貼りながら、出された意見を「インターネットだからこそ起こるもの」と「インターネットに限らず起こる可能性があるもの」に分類し、気付いたことや人権侵害を起こさないようにするために必要なことについて話し合います。

実施の際のポイント

インターネットは便利だが、人権に関わる問題もあり、事例は実際に起きたものであることを伝えます。

自分とは異なるとらえ方をする人がいても、否定せずに聞くことを伝えます。

対象を「わたし（自分自身）」に置き換えたときの感じ方を考えることで、人権侵害に関わる当事者として問題をとらえられるよう促します。

付箋紙一枚に、一つの答えをペンで簡潔に書くよう伝えます。

同じ意見、似ている意見はまとめて貼るよう伝えます。

加害者にみられる特徴やインターネット特有の現象などに注目して考えるよう助言します。

<アクティビティ3> インターネット社会において人権が守られるために

活動のねらい

インターネットによる人権侵害は誰にでも起こる可能性があることを理解し、人権侵害の被害者、加害者にならないために気を付けることについて考えます。

活動の進め方

<準備> 資料③ ワークシート

- 資料③を配布し、インターネットによる人権侵害のデータを確認し、身近な問題であることを確認します。
- 学習全体をとおして気付いたことや、インターネットによる人権侵害の被害者、加害者にならないために、自分にできることはどんなことか考えます。
- ワークシートに書いたものを発表し合い、グループ内で共有し、時間があれば全体で共有します。

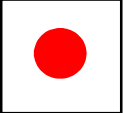
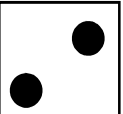
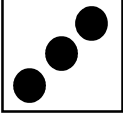
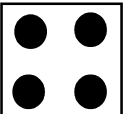
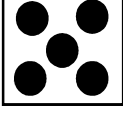
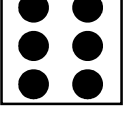
実施の際のポイント

インターネットによる人権侵害が増加しており、その内容が多様化していることから、誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があることを確認します。

インターネットの特性を理解することだけでなく、相手を尊重することや発信する言葉に注意する等、よりよい人間関係づくりのための配慮も大切であるという意見を引き出せるようにします。



出たサイコロの目のお題で、グループ内で気楽に話をしましょう！

出た目	お題
	よく見るホームページについて（ニュース、天気予報なども可）
	インターネットを使った買い物や予約について
	メールやSNS（フェイブック、ツイッター、LINEなど）の利用について（どんなときに 誰とやりとりする など）
	インターネットが関係する事件やトラブルについて
	インターネットを使う時間について（いつ、どのくらい など）
	インターネットが突然使えなくなったら？



事例①

Aさんは、仲の良い友達数人と無料通話アプリでグループトークをしていました。

ある日、友達からメッセージが送られてきたことに気付かず、Aさんは返信し忘れてしまいました。

それから、Aさんはひどい人だと悪口を投稿され、仲間はずれにされてしまいました。

事例②

Bさんは、おもしろ半分に、「〇〇さんが、事件の容疑者に似ている」とインターネットの掲示板に書き込みました。

それを見た人が、次々にその掲示板に〇〇さんを非難する内容の書き込みを始め、あっという間に〇〇さんは犯人にされてしまいました。

〇〇さんはその事件には全く関係がありません。

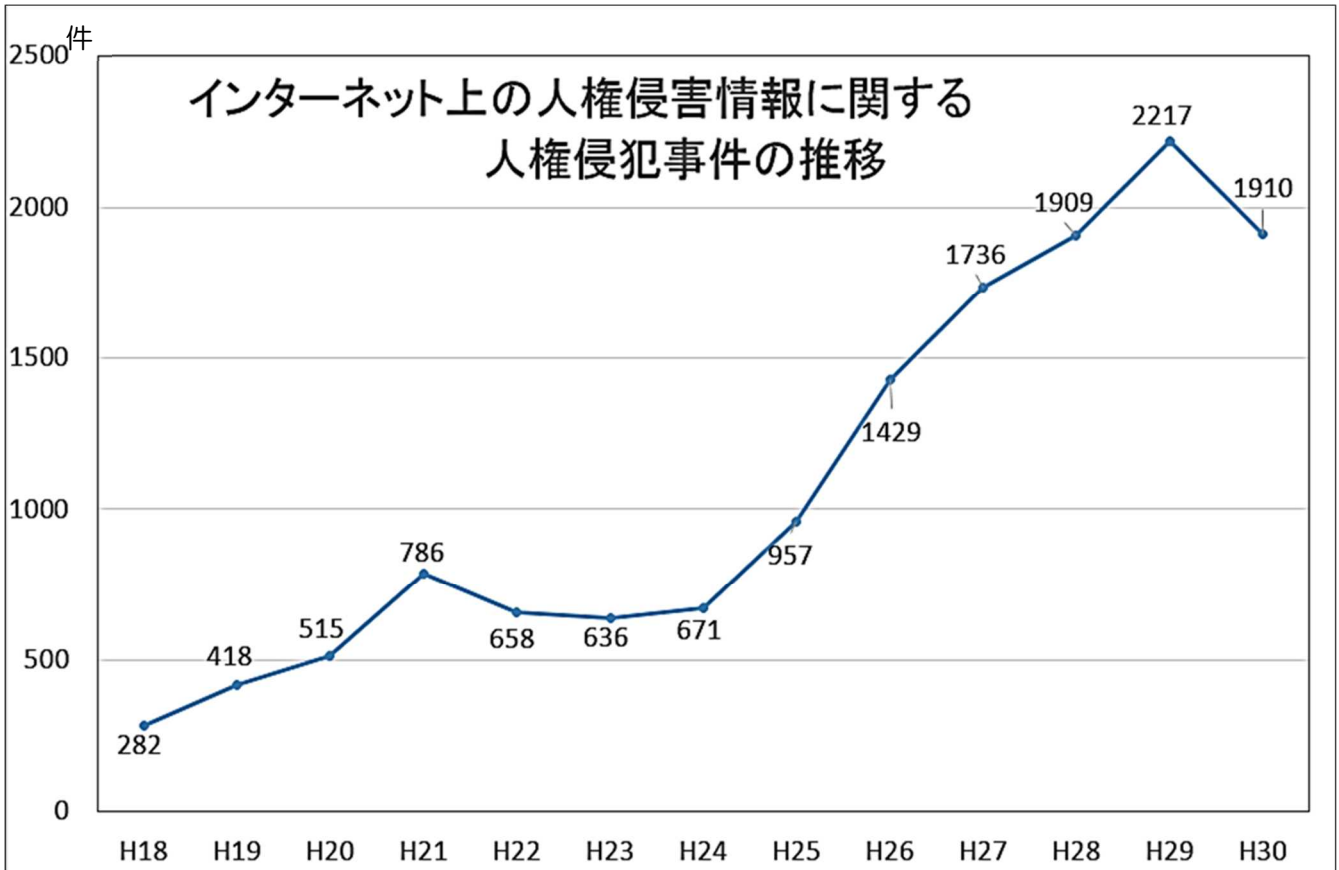
事例③

Cさんは、インターネットのあるホームページに載っていた「〇〇で病気が治る」という情報をSNSに投稿しました。

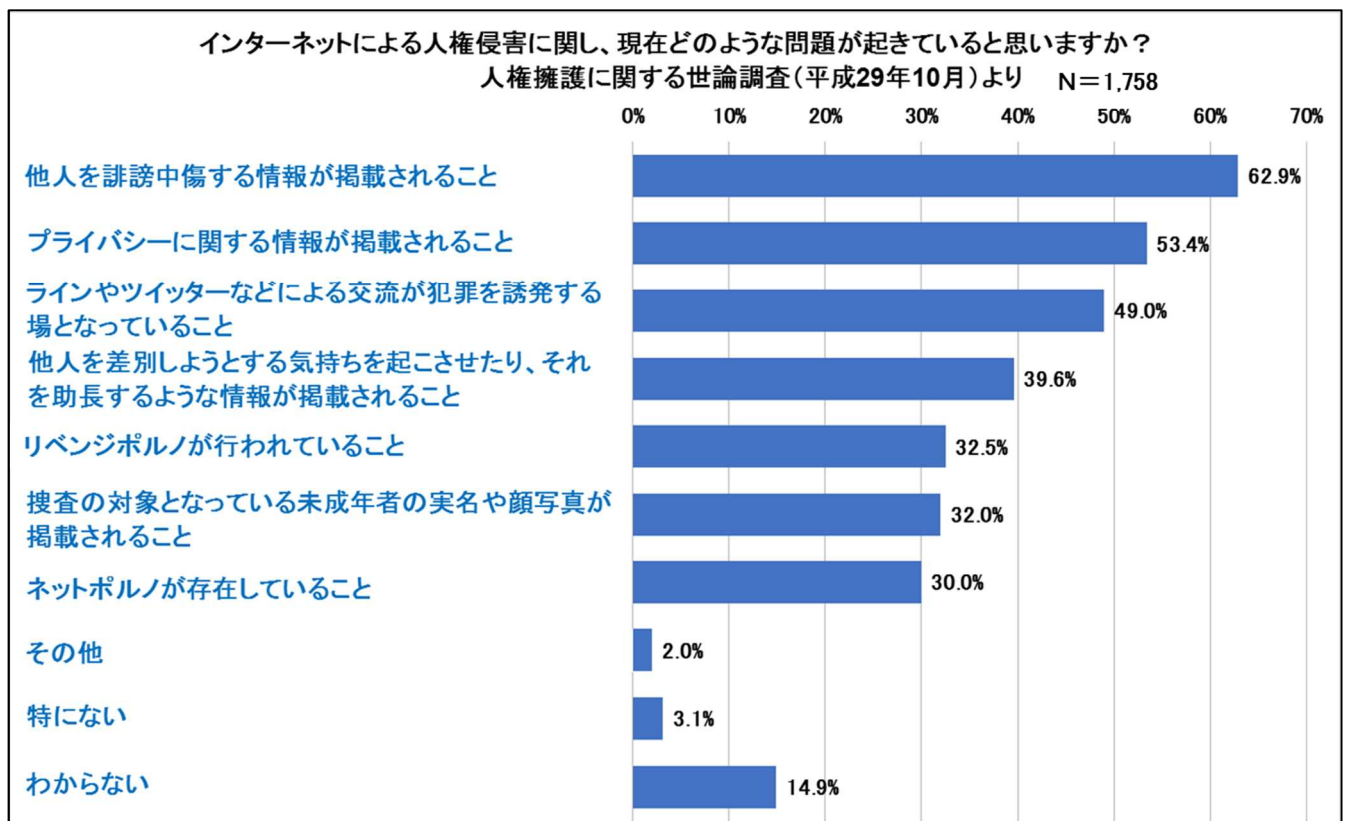
興味深い内容だったようで、Cさんの投稿を見た、たくさんの人にその情報が広がっている様子でした。

しかし、後になって、それがうその情報だったということが分かり、信じた人の中には心が傷ついた人もいました。そして、Cさんに対しての誹謗中傷も聞こえてきました。

資料③

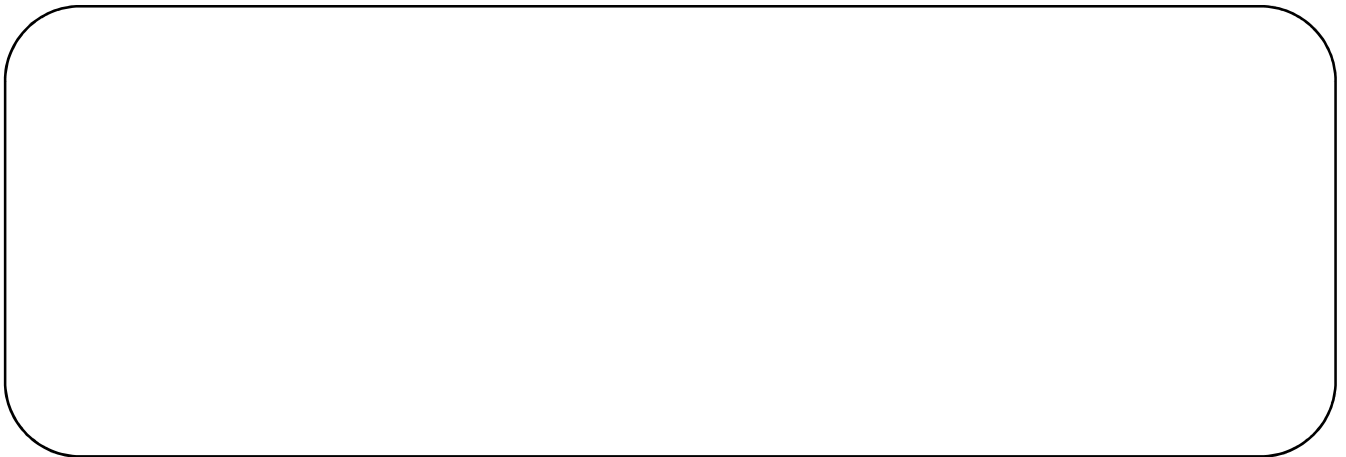


平成30年における「人権侵犯事件」の状況について（概要）～法務省の人権擁護機関の取組～より

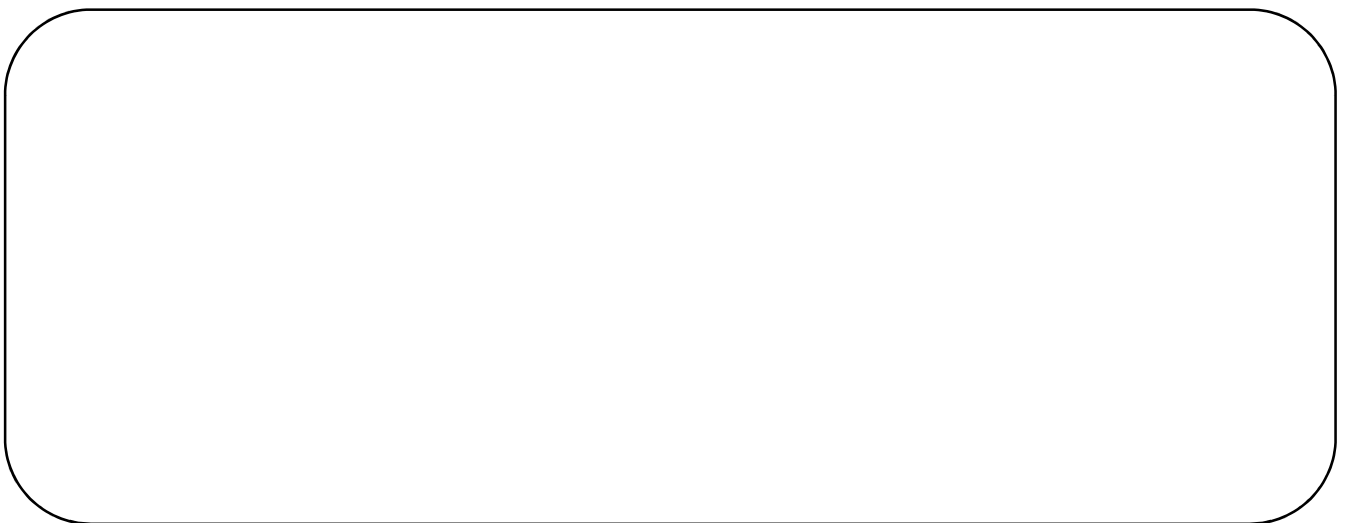


内閣府 人権擁護に関する世論調査（平成29年10月調査）より

☆ 今日の活動全体をとおして、どんなことに気づきましたか？



☆ インターネットによる人権侵害の被害者、加害者にならないために、私たちにできることはどんなことでしょうか？



◇ メモ
